

いられない。用地買収が進んでいないという話をされたが、交渉してみなければわからない。必死になって骨を折らなければならぬ。市長の当選後のコメントで、自治体は県の下部団体ではないと発言しているが、そういう状況下で本当にやってみてもらえるだけの自信があるのか。それができないのであれば、市の予算でつくるくらいの覚悟はあるのか。

しっかりとした体制をつくり、高崎坂東線早期実現をお願いしたい。

**答弁(都市建設部長)**

さらに多くの予算確保と事業の推進を図っていただくよう、県に積極的に働きかけていく。

**答弁(市長)**

議会において、県道として高崎坂東線を早期に実現するということが最大公約数の合意があったものと解釈している。議会の意思を尊重して、県、知事に積極的に働きかけていきたい。

**再質問**

すぐにもほしい道路を、いつかはやるだろうと県に投げておいて良いのかという問題である。市道に認定し、後に県で管理するということを、市長は当時反対しているが、考えた上で反対したのだろうか。

なぜそういう考えになったのか。自分が日参しても、3年間、5年間でつくるという返事はできないのか。

**再答弁(市長)**

昨年の12月議会ですり早期着工について請願があったが、それは全員が賛成している。その意向を尊重するのが私の立場なので、その立場で県に早期着工を要望する。

**再々質問**

県に行つて3年、5年でできるだけのお願い、完成してやるだけの自信があるのか、やる気があるのか。県は大丈夫、だという自信があるのか、もう一度聞きたい。

**交通安全対策について**

**質問**

最近、登下校中の児童らの歩行者が犠牲になるという交通事故が相次いで起きた。豊岡小学校で、子どもを見守るボランティアの情報交換会が開かれ、危険場所や不審者の問題、子どもにとって危険なものについて情報が出され、その対策について話し合われた。子供をどう守るかということも含めて、一層真剣に考えようという提案もあった。豊岡地区には、通称横曽根道路というメイン道路があり、

**再々答弁(市長)**

すべての意思を尊重して県に強く要望しているし、知事も動いてくるものと信じている。実施主体は県なので、市長として何年でやると言える権限は無い。

**(その他の質問)**

○市長選において、さまざまな事業の見直し、公約について考えを問う



堀越 道男 議員

豊岡小学校の半分以上の子どもがこの道路を通学に使っている。30年前はもつと狭くてU字溝が不備で、U字溝の底谷間になつていようなどころを子どもたちが歩いてきたこともあり、何度かの改善はされたが、道路の幅そのものは広がらない、狭くなつて

いる状況はこの間も続いている。グリーンラインなどを引いて頑張っているが、朝夕、あるいは朝だけでも通行量を減らし、死亡事故を起こしてはいけないという立場で、子どもを守る方策として、水海道有料道路を通勤時間帯に無料にできないかとの提案である。私が調べてみたが、朝7時から8時の間に横曽根道路を通る車はオートバイも含めて1時間に575台通つていた。有料道路は515台。印象的には、狭いところを575台も通るといのは、見た目ですごく危険で、激しい通り方をしている。一方、有料道路は時間帯の無料化をして、横曽根道路の交通量を減らすということは、安全策を取る上で大変大きな方策だと考える。地元としてお金がかかっても、安全性については何としても守るべき、勝ち取っていくべきであり、そういう施策が当市として考えられるのかどうか聞きたい。

**答弁(都市建設部長)**

無料化は常総市のみで減収額を補てんすれば可能であるが、現在の財政状況では困難である。しかし、子どもたちの安全確保のため、関係部署と連携を図り、通行料を減らす方策を検討していく。

**再質問**

夜間は無料になっているが、それはコストの問題である。そういうことでは、時間帯がここからここまでという理論的な裏付けは無いということ



横曽根道路

だと思ふ。財政を考えればある程度折り合いをつけるということも必要である。子どもを守るためにどれだけの努力をするのかということが政治を預かる立場としては必要なのではないか。市長の決断が必要である。

**再答弁(市長)**

県の道路公社に強く要望する、財政的に自治体が全額負担する、の二つの方向で考えていきたい。

**再々質問**

命は金よりも重いということである。

**(その他の質問)**

○3・11震災被害支援について  
○自然再生エネルギー社会づくりについて